

# AMDA創設した医師

## 菅波茂さん(60)



もしもいま災害で すべてなくしても  
世界の友から そのはげましがあつたなら  
不安や恐怖に おののかないで  
希望と夢をもって 進むだろう

国際的な医療ボランティア団体のAMDA(岡山市)は二十九カ国に支部を持ち、被災地や紛争地で困っている人を助けています。創設者の医師菅波茂さんに歌詞を作ってもらいました。

災害が起こるとAMDAの医師団は、七十二時間以内に被災地に入ります。「『あなたを見捨てません』というメッセージを伝えることが、被災者にとって絶望から希望を見いだす勇気となるからです」と詞に込めた思いを説明してくれました。

「医療は言語、宗教などの違いを超え世界のみなが必要と

している」と菅波さんは言います。被災地の子どもたちに夢を尋ねると、決まって返ってくるのは「医者、看護師、先生になりたい」という答えだそうです。健康や教育への切なる願いは、それらが普通に手に入る僕らには実感しにくいことです。

国際的な活動をするときに大切なのは「名前を呼ぶ」「あいさつをする」「ありがとうと言う」の三つの行動で、相手の存在を認めること。「まず、その国の言葉の『ありがとう』を覚えることからだよ」と話していました。

(中三・西田成)

## 「ありがとう」の国際交流



「平和とは今日の家族の生活と、明日の家族の希望が実現できる状況」(撮影・高エマディナ・サディコワ)